

取組年度	基本政策No.	施策No.	取組
令和7年	6	1	(仮称) アクアピア2整備を進めます。



(仮称) アクアピア2整備事業



(担当課 公園緑地課)

概要

(仮称) 新熊谷衛生センターで発生するごみの焼却熱のエネルギーを有効活用した屋内水泳施設を整備し、健康増進、スポーツ振興、そして多世代が交流できる「憩いの場」を創出します。
また、老朽化した既存の学校プールの機能を本施設へ集約化し、維持管理コストの最適化を図ります。

実績

令和7年9月議会において(仮称)アクアピア2基本構想・基本計画策定等業務委託(25,000千円)に係る補正予算の議決を経て、同年12月にプロポーザル審査を実施、令和8年1月業者(パシフィックコンサルタンツ株式会社)と契約しました。



※参考 アクアピア (熊谷さくら運動公園)



令和7年 6 2

次世代を担う若者の社会参画の機会や、若者を中心とした公民連携による地域課題の解決の機会の充実を図ります。

第3回シーンスケッチコンテスト (担当課 政策調査課)

概要 デジタル技術を活用した未来の熊谷市を描いて応募する「第3回シーンスケッチコンテスト」では、主に小中学生に対しスマートシティの関心を意識づけるきっかけとなったほか、画像生成AIの有用性も伝えることができました。

実績 応募数 554件 (過去最多)

最優秀賞

リアルな暮らし部門 (252作品)

「スマート見守りカメラ マモルくん」
須長 篤紀さん 大里中学校 1年生

未来創造部門 (302作品)

「ロボットが活躍する未来の熊谷」
木野田 博彦さん さいたま市

コミュニティラボ **RENEWAL!** (担当課 政策調査課)

概要 Slackを活用したWEB共創プラットフォーム「コミュニティラボ」では、シーンスケッチコンテストの活性化についての議論や、大学生等を対象に開催した「熊谷未来デジタルワークショップ」の立ち上げに関する意見交換を実施するなど、若者世代に、熊谷スマートシティのまちづくりに参画いただくための取組が加速化しました。



コミュニティラボ1周年記念シンポジウム

熊谷未来デジタルワークショップ **NEW** (担当課 政策調査課)

概要 「デジタル人材育成」の観点から令和7年12月から令和8年3月まで開催し、まちの課題をデジタル技術を使って解決する意識や能力を育み、地域の担い手づくりに努めました。



熊谷未来デジタルワークショップ

令和7年 6 3

スマートシティの取組を推進し、
市民生活の利便性向上と新たな経済活動の創出を目指します。



都市ポータルアプリ「クマぶら」

(担当課 政策調査課)

実績 市民のデジタルインフラとして、デジタルやスポーツを中心とした情報発信を行うほか、クマPAY、クマポ、スマホバス回数券、図書館マイナンバー認証システム等のスマートシティサービスの入口としての機能を充実させました。また、暑さ対策スマートパッケージのクマポ付与自動化を行ったほか、まちなかを巡って楽しめる「ポイントゲーム」の実装など新コンテンツも充実させました。

また、オープンデータ基盤「FIWARE (ファイウェア)」の活用推進とパーソナルデータストア (PDS) に蓄積されるパーソナルデータの利活用とデータ分析の取組を推進させました。また、暑さ対策スマートパッケージのクマポ付与自動化のため、気象サービス POTEKAの気象データとFIWAREを連動させる構築を行いました。

更に、民間が運営するシェアサイクルサービスのデータとFIWAREを連携させる構築もを行い、民間サービスのデータとクマぶらマスターデータの掛け合わせを実現させました。

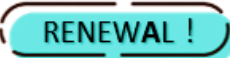
まちなかヒートエリア (公開期間は6月から9月末まで)

(担当課 環境政策課)

実績 まちなかの暑さ分布をシミュレーションで色分け表示し、比較的涼しい場所やルートを確認できるようにしました。

閲覧数 283回

クールシェアスポットマップ



(担当課 環境政策課)

実績 市内約200か所の涼しいスポットをご案内するとともに、その日の風向きから予測される相対的な暑さランクに応じて、対象スポット利用時に受け取ることができる「クマポ」が変動する仕組みを導入しました。暑さランクが高いスポットでは多くのポイントがたまりやすくなります。



POINT!

クマポ付与回数
令和6年度の1,901回から
7,068回へと増加!



令和7年	6	3
------	---	---

スマートシティの取組を推進し、
市民生活の利便性向上と新たな経済活動の創出を目指します。

都市空間情報デジタル基盤構築事業

(担当課 都市計画課)

概要 本市では3D都市モデルという、デジタル空間上にもう1つの「熊谷市」を作り、その空間で各種シミュレーションができるよう整備・更新を進めています。

3D都市モデルの活用により、一人一人の頭の中にあるイメージを可視化し、共有することで、相互理解が深まり、まちづくりや防災に関する議論が活性化することが期待できます。

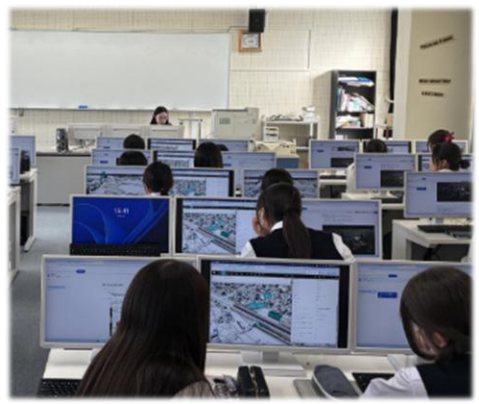
実績 令和6年・7年度は、県立高校（R6:熊谷西高校24名、熊谷工業高校38名、熊谷商業高校21名、R7:熊谷高校39名、熊谷女子高校40名、熊谷西高校28名）の生徒の皆さんに、本市のまちづくりの現状や課題を解決するための方策を、3D都市モデルのまちづくりシミュレーションを通して議論するとともに、イメージを具体化していただきました。

各校の代表グループは、立正大学を会場にした「全体発表会」で市長や副市長の前で提案発表を行い、まちづくりのアイデアを伝えました。

今後も、多世代の市民の皆様に対して使いやすいツールになるよう検討し、市民参加型のまちづくりの推進を図ってまいります。



3D都市モデル（熊谷駅北口側）



3D都市モデル活用の様子



全体発表会の様子

本市特有の暑熱対策や通風を考慮した環境配慮型の良好な住環境を形成するため、籠原駅周辺土地地区画整理事業（新堀地区のスマートエコタウン）を促進します。

スマートエコタウン支援事業

（担当課 都市計画課、環境政策課）

概要 新堀地区では、本市特有の暑熱対策や通風を考慮した環境配慮型の良好な住環境を形成するため、籠原駅周辺土地地区画整理事業を促進しています。

なお、土地地区画整理事業の施行主体は、地権者の方々に構成される土地地区画整理組合となっており、市は事業実施に係る支援、工事等の事業費に対する支援、地域特性を踏まえた街づくりのための計画づくりへの支援を行なっています。

実績

令和7年度は地区内工事が着工し、工事が進んでいる状況です。

また、地域の自然特性を考慮した日射遮蔽や通風を念頭に、熊谷版スマートハウスの建ち並ぶスマートエコタウンの形成を目標として地区計画とガイドラインを策定するため、協議を進めています。

籠原駅周辺土地地区画整理事業

設計図

S=1: 500 (A1)
S=1: 1000 (A3)



取組年度	基本政策No.	施策No.	取組
令和7年	6	5	熊谷駅を核としたまちなかの魅力向上を図ります。



まちなかウォーカブル推進事業 (担当課 商業観光課)

概要 まちなかでは、令和6年度以降公民連携のまちづくりに取り組んでいます。事業実施内容は星川周辺のまちづくりの指針となるよう、多くの市民の意見をまとめた「星川将来ビジョン」に基づく内容となっています。今後も市役所だけでなく、民間と力を合わせて、居心地の良い、歩きたくなるまちづくりに取り組んでまいります。

「まちなか交流拠点」ITOMA (イトマ)



令和7年10月11日、民間運営によるITOMAが本格オープン。以降シェアキッチン、シェア棚等を運営しています。オープンスペースでは近隣高校生が学習する姿が、また、南側の空きスペースはポケットパークとして親子連れの様が見られるなど、まちの活性化に一役買っています。



熊谷版decidim「ツノルバ」の運営

「ツノルバ」は、熊谷市にある星川地区周辺のまちづくりに、市民が主体的に参加し、一緒に未来を上げるためのプラットフォームです。「ツノル(募る)」という名前には、たくさんのアイデアや仲間が集まる場所という意味が込められています。



実績 参加可能プロジェクト 9件
ワークショップ・会議 4件 公開中

熊谷駅を核としたまちなかの魅力向上を図ります。

まちなかウォークアブル推進事業 (担当課 商業観光課)

グリーンスローモビリティの走行社会実験 NEW

概要 グリーンスローモビリティとは、時速20キロメートル未満で公道を走ることができる電動車を活用した地域の移動サービスです。環境に優しい次世代の交通手段として注目されています。まちなかのにぎわい創出に向けて、まちなかの移動性を高めつつ新たな移動の価値や体験をもたらす新しいモビリティの可能性を検討するため、試験的に運行を行いました。

期間 9月27日から10月26日までの30日間
場所 星川通線を緑の広場から星溪園まで。

実績 期間内累計乗車人数 1,857人



星溪園ガーデンカフェ NEW

概要 星溪園の文化財としての保存を行った上で、より多くの市民が星溪園に親しむことができるようにすること、そしてより地域の魅力向上につながるような公園としての活用の仕方を考えることを目的とした社会実験を行いました。

9月6日から10月26日までの間、玉の池の上にミストによる雲海を発生させ、松風庵内で喫茶を運営しました。

実績

客数	3,476人			
販売数	コーヒーコース	114品	ケーキセット	1,366品
	ドリンク	3,372品	ソフトクリーム	568品



取組年度	基本政策No.	施策No.
令和7年	6	6

取組

駅前広場など熊谷駅南口周辺の再整備、新市民体育館を含めた荒川公園周辺再整備、荒川周辺の良い空間形成を目指す「熊谷市荒川かわまちづくり計画」による熊谷駅南口エリアの活性化を図ります。



荒川かわまちづくり整備事業

概要

(担当課 河川課)

河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指し、国土交通省の「かわまちづくり支援制度」を活用し、熊谷荒川緑地の再整備を行います。

これまでの取組

令和5年度から、「熊谷市荒川かわまちづくり」の計画策定に着手し、計画策定に向け、関係団体へのヒアリング、Webアンケート及び地元アンケート、ワークショップを3回、社会実験を1回実施し、また、協議会を組織し、4回協議会を開催し、令和7年5月に計画書が完成しました。

POINT!

令和7年5月には、国土交通省の「かわまちづくり支援制度」への登録に向け、国土交通省へ登録申請を行い、令和7年8月1日に支援制度への登録が決定しました。

全体鳥瞰図

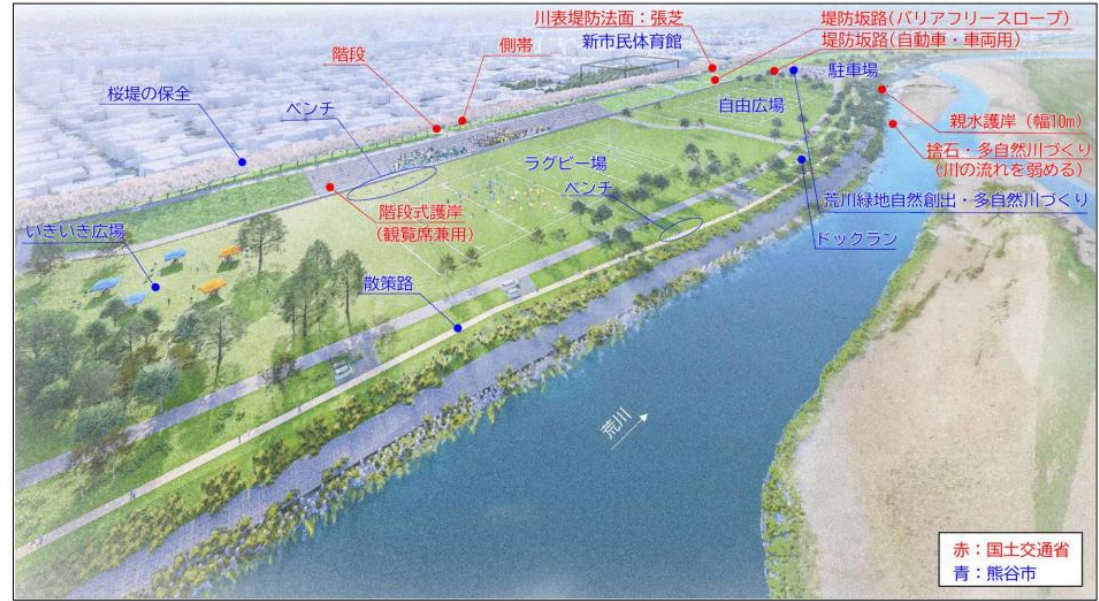


図24 熊谷市かわまちづくりイメージ図(荒川大橋より下流側)



「かわまちづくり支援制度」への登録



社会実験「荒川水辺の自然体験学習会」



熊谷駅南口周辺再整備促進事業

(担当課 都市計画課)

概要

熊谷駅南口周辺において、交通結節点の機能強化や民間事業者が主体となった再整備を促進するため、新たなビジョンである熊谷駅南口周辺まちづくりビジョンを策定しています。

このビジョンは市民参加型ワークショップや学識経験者を交えた策定委員会等を通じていただいた様々な意見を反映させ、将来像やまちづくりの基本方針を提示するもので、関連する各種事業と連携し、エリアの価値向上を図ります。

熊谷駅南口周辺まちづくりビジョンは令和8年度に公表を予定しており、その後、様々な取組を進めていきます。



出典：駅まちデザインの手引き（国土交通省）

実績

- 熊谷駅南口まちづくりワークショップ
 - 令和7年 8月23日（土）13人参加
 - 令和7年 10月11日（土）14人参加
 - 令和7年 12月20日（土）15人参加
- 熊谷駅南口周辺まちづくりビジョン策定委員会
 - 第1回策定委員会（令和7年8月7日）
 - 第2回策定委員会（令和7年11月18日）
 - 第3回策定委員会（令和8年2月17日）



ワークショップ



令和7年	6	6
------	---	---

駅前広場など熊谷駅南口周辺の再整備、新市民体育館を含めた荒川公園周辺再整備、荒川周辺の良好な空間形成を目指す「熊谷市荒川かわまちづくり計画」による熊谷駅南口エリアの活性化を図ります。

荒川公園周辺再整備事業

(担当課 スポーツタウン推進課)

概要

荒川公園周辺再整備事業は現在、基本計画策定に向け市民皆さんの意見をいただくため、ワークショップを実施しています。これまで3回のワークショップでは様々な立場で様々な意見が多数出されました。また各種調査を始め、ラグビー場やニートモール内でオープンハウス形式のアンケートを実施しました。ラグビー場では600人以上の方に御協力をいただいております。

これらの実施結果については、紙で発行しているニュースレターや、市ホームページに掲載していますので是非御覧ください。



実績

- みんなでつくろう！
新市民体育館・新荒川公園ワークショップ
- 令和7年 11月 8日 (土) 48人参加
- 令和8年 1月31日 (土) 41人参加
- 令和8年 3月28日 (土) 36人参加





令和7年	6	7
------	---	---

北部地域振興交流拠点に市庁舎を整備し、
 県が整備を予定している各機能と連携することにより、
 次世代につながる誇れるまち熊谷のまちづくり拠点として整備します。

北部地域振興交流拠点施設（仮称）推進事業

（担当課 北部拠点整備推進室）

概要 埼玉県と共同で整備を進める北部地域振興交流拠点に新庁舎を整備するため、令和7年度に「熊谷市庁舎整備基本計画」の策定に取り組みました。

基本計画の策定に当たっては、市議会に設置された「新庁舎建設に関する調査特別委員会」での検討のほか、市民アンケートや市民ワークショップ（3回）、職員ワークショップ（2回）、オープンハウスなど、多くの市民の皆様の声を取り入れながら検討を進め、「熊谷市新庁舎建設検討委員会」（5回開催）での検討を経て、基本計画を取りまとめました。

あわせて、県との「北部地域振興交流拠点連絡調整会議」を4回開催し、県市が連携を図りながら検討を進めました。

主な実績

■ オープンハウス

- ・令和7年7月27日、江南総合公園・親子ふれあいプール祭り
59名から庁舎整備に関するアンケート回答を得ました。
- ・令和8年1月11日、令和8年熊谷市二十歳の成人式
（熊谷スポーツ文化公園 くまがやドーム体育館）
161名から庁舎整備に係る意見を伺いました。
- ・令和8年2月14日、熊谷市誕生20周年記念
「埼玉ワイルド ナイツvsトヨタヴェルブリッツ」
（熊谷スポーツ文化公園ラグビー場Aグラウンド）
504名から庁舎整備に係る意見を伺いました。

■ 市民ワークショップ（参加者 延べ57名）

- 第1回：令和7年8月3日
- 第2回：令和7年9月28日
- 第3回：令和7年11月9日

■ 職員ワークショップ（参加者 延べ59名）

窓口と執務空間をテーマに2回開催しました。



■ 基本計画（案）説明会

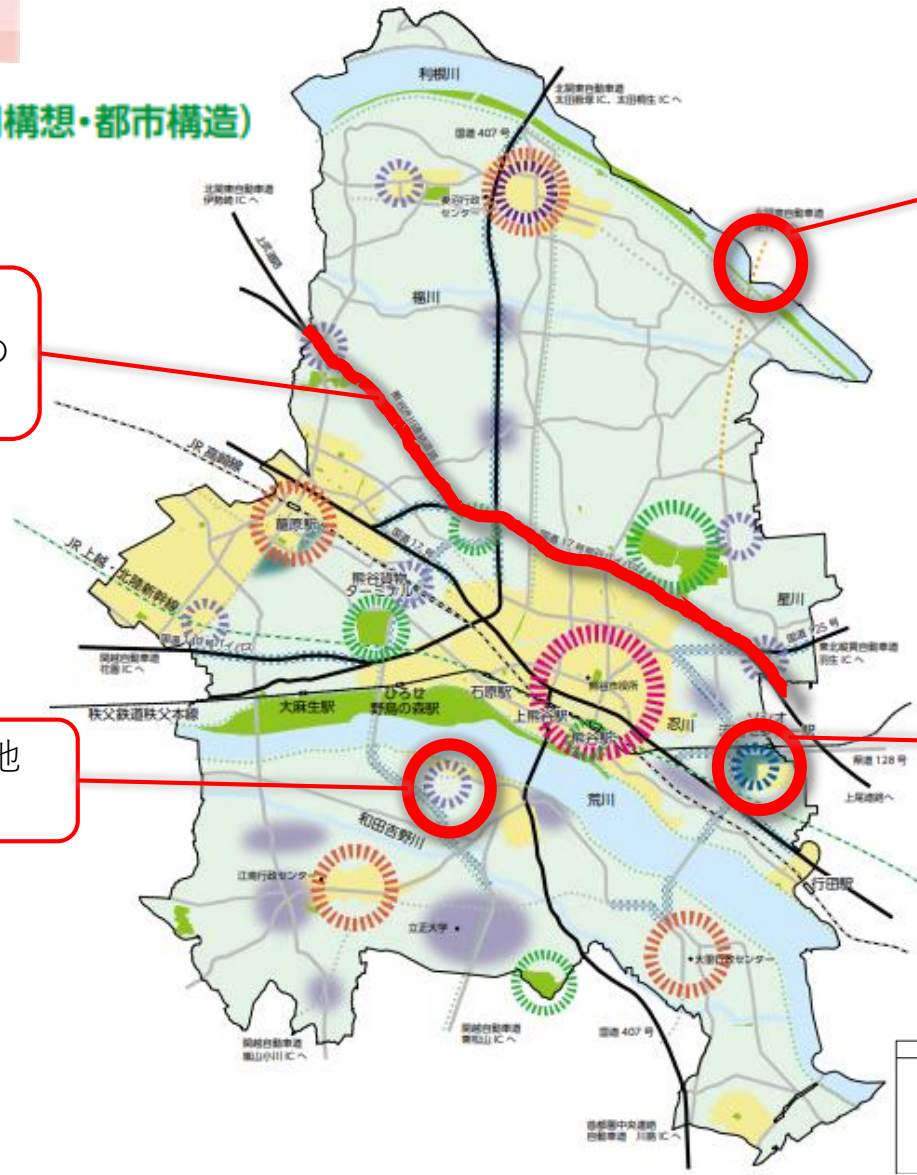
- ・令和8年3月15日、男女共同参画推進センター
「ハートピア」会議室で市民説明会を開催しました
（15名参加）。

「高速道路を熊谷へ」首都高速道路「高速埼玉大宮線」の延伸となる「新大宮上尾道路」に接続される、「熊谷渋川連絡道路」の早期事業化や、利根川新橋の建設を目指し、周辺地域とのアクセスを向上させるとともに、新しく整備する産業団地などを含めた産業拠点や産業誘導ゾーンなどへの企業誘致を推進します。



計画・進行中の取組

■ 将来都市像図(土地利用構想・都市構造)



「高速道路を熊谷へ」
「熊谷渋川連絡道路」の
早期事業化要望活動

利根川新橋の建設

(仮称) 樋春地区産業団地
整備計画検討・調査事業

ソシオ流通センター駅周辺
土地区画整理事業

凡例		
	都市拠点	— 国道
	地域拠点	— 主な県道・市道
	スポーツ・文化・健康拠点	— 計画道路
	観光交流拠点	— 構想道路
	産業拠点	— 産業誘導ゾーン
	東部重点産業拠点	— 沿道型土地利用ゾーン
	集落・農地・樹林ゾーン	
	市街地ゾーン	
	公園・緑地ゾーン	
	新たなまちづくり検討ゾーン	
	自転車(計画)道	

「高速道路を熊谷へ」首都高速道路「高速埼玉大宮線」の延伸となる「新大宮上尾道路」に接続される、「熊谷渋川連絡道路」の早期事業化や、利根川新橋の建設を目指し、周辺地域とのアクセスを向上させるとともに、新しく整備する産業団地などを含めた産業拠点や産業誘導ゾーンなどへの企業誘致を推進します。



「高速道路を熊谷へ」

(担当課 道路課)

概要 首都高速道路の熊谷までの延伸を掲げ、首都高速道路「高速埼玉大宮線」の延伸先として整備が進む「新大宮上尾道路」に接続される「熊谷渋川連絡道路」の早期事業化を目指し、熊谷バイパス建設促進期成同盟会の会長として、事業主体となる国土交通省、関東地方整備局及び大宮国道事務所を訪問し、整備促進に関する要望を行いました。

また、10月に埼玉県北部地域国道17号バイパス早期整備期成同盟会を新たに設立し、熊谷渋川連絡道路に関連する深谷バイパス及び上武道路の4車線化や本庄道路の早期整備について国に要望を行いました。

実績



11月25日 熊谷BP要望
国土交通省 佐々木副大臣



11月25日 熊谷BP要望
国土交通省 石和田道路局次長



11月25日 熊谷BP要望
関東地方整備局 小澤道路企画官



11月12日 県北BP要望
国土交通省 加藤政務官



11月12日 県北BP要望
国土交通省 富山大臣官房審議官



11月12日 県北BP要望
参議院議員会館 見坂議員

令和7年 6 8

「高速道路を熊谷へ」首都高速道路「高速埼玉大宮線」の延伸となる「新大宮上尾道路」に接続される、「熊谷渋川連絡道路」の早期事業化や、利根川新橋の建設を目指し、周辺地域とのアクセスを向上させるとともに、新しく整備する産業団地などを含めた産業拠点や産業誘導ゾーンなどへの企業誘致を推進します。

利根川新橋の建設の実現

(担当課 道路課、都市計画課)

概要 利根川新橋については、埼玉・群馬・栃木、3県のアクセス向上と経済発展のため長年に渡り続けてきた国・県への要望活動が実を結び、本市と群馬県千代田町を結ぶ新橋の建設に向け具体的に動き出しました。
令和7年度は埼玉・群馬の両県で地域住民にアクセス道路のルートが示されるなど、着実な進捗が図られています。



要望活動

実績



8月6日 利根川新橋要望
埼玉県 吉澤県土整備部長



11月17日 利根川新橋要望
群馬県 宮前県土整備部長

アクセス道路の整備

実績 (いずれも県と合同開催)

- オープンハウス形式の説明会 (令和7年9月開催) 100名来場
- 他、測量の説明会



オープンハウス形式の説明会

「高速道路を熊谷へ」首都高速道路「高速埼玉大宮線」の延伸となる「新大宮上尾道路」に接続される、「熊谷渋川連絡道路」の早期事業化や、利根川新橋の建設を目指し、周辺地域とのアクセスを向上させるとともに、新しく整備する産業団地などを含めた産業拠点や産業誘導ゾーンなどへの企業誘致を推進します。



(仮称) 樋春地区産業団地整備計画検討・調査事業

(担当課 産業拠点整備推進室課)

概要

企業誘致及び市内企業の事業拡大の推進を目的として、企業の立地先となる産業団地整備計画の検討に必要な業務を行っています。
 現在事業化に向け協議を進めている産業団地は、**吉岡工業団地に隣接する樋春地区内を予定**しており、埼玉県企業局を事業主体とした「県と市の共同事業」として実施し、緊密に連携を取りながら事業化に向けて協議を進めています。

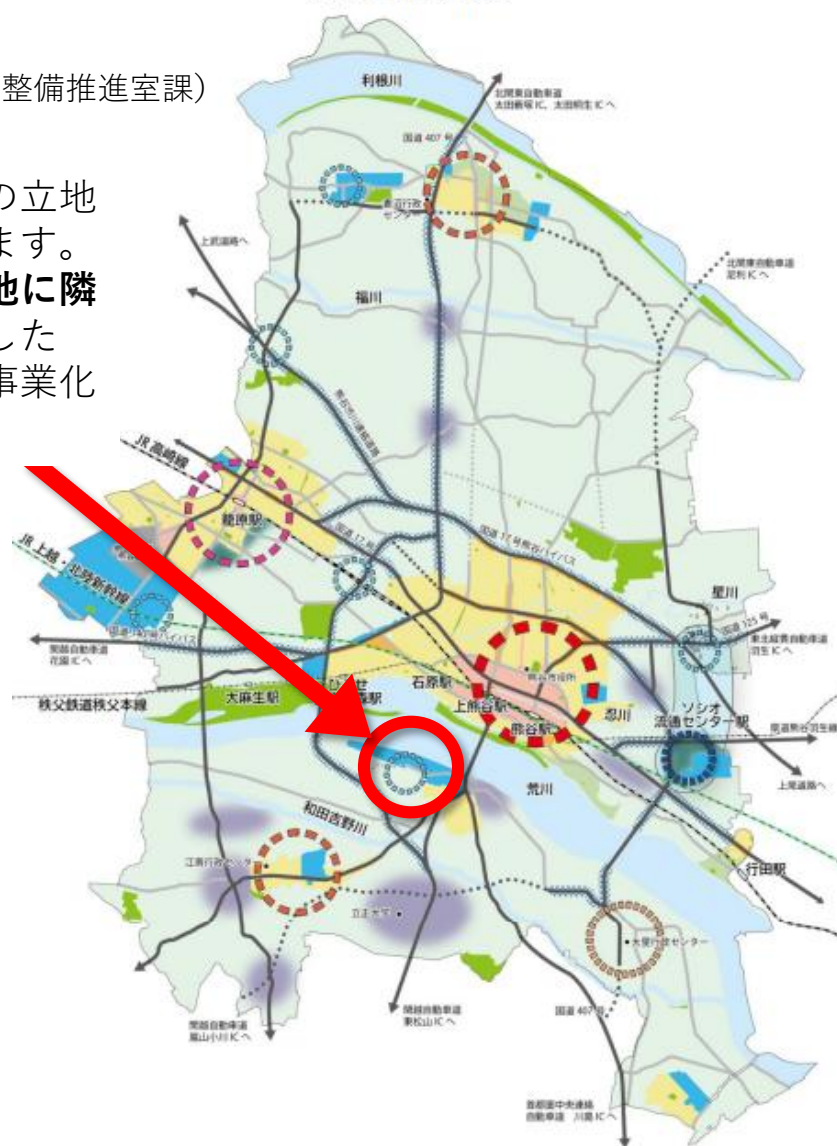
実績

- 県企業局と関係地権者との合意書取得に関する覚書を締結
- 土地利用転換に伴う農林調整・都市計画変更に係る資料を作成
- 水源井の移設に伴う江南地区水源試掘調査を実施

効果

- 新たな企業の誘致による地域経済の更なる発展
- 雇用機会の維持と創出及び本市への転入者の増加
- 固定資産税等の税収増加により安定した財政運営の実現

《土地利用方針図》



令和7年 6 8
(5 - 9再掲)

「高速道路を熊谷へ」首都高速道路「高速埼玉大宮線」の延伸となる「新大宮上尾道路」に接続される、「熊谷渋川連絡道路」の早期事業化や、利根川新橋の建設を目指し、周辺地域とのアクセスを向上させるとともに、新しく整備する産業団地などを含めた産業拠点や産業誘導ゾーンなどへの企業誘致を推進します。

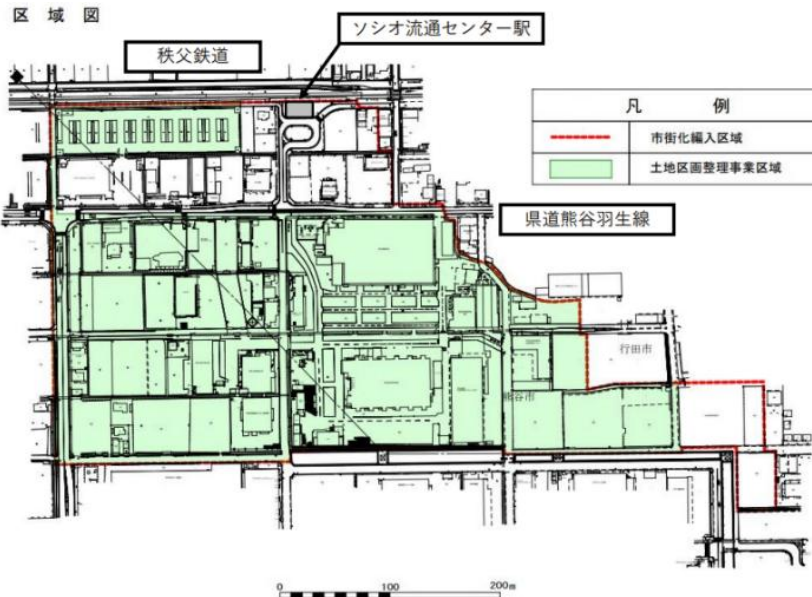
ソシオ流通センター駅周辺土地区画整理事業

(担当課 土地区画整理事務所)

概要 新たな産業用地を創出して東部重点産業拠点を形成するため、ソシオ流通センター駅周辺地区11.3haについて、土地区画整理事業により、道水路等の公共施設整備を行い、**新たな産業基盤の整備**を進めます。

実績 令和7年度は、事業概要や今後の事業の進め方についての全体説明会を開催しました。次に、個別説明会により、整備後の土地利用の意向についてヒアリングを実施しました。その後、住工混在の解消や土地利用の意向に基づく土地の集約を目的とした換地設計を行い、土地利用計画の素案を地権者の皆様に提示しました。
また、施行者（熊谷市）の諮問機関である土地区画整理審議会を設置し、第1回審議会を開催しました。

「土地利用方針図」



令和7年

6

8

(5 - 8再掲)

「高速道路を熊谷へ」首都高速道路「高速埼玉大宮線」の延伸となる「新大宮上尾道路」に接続される、「熊谷渋川連絡道路」の早期事業化や、利根川新橋の建設を目指し、周辺地域とのアクセスを向上させるとともに、新しく整備する産業団地などを含めた産業拠点や産業誘導ゾーンなどへの企業誘致を推進します。



交通アクセスの向上、産業団地の整備、産業拠点や産業誘導ゾーンなどでの産業用地の創出の取組と連携し、令和7年度に都心で初めて企業誘致セミナーを主催するなど、企業誘致を加速化しています。

企業立地奨励金

(担当課 企業活動支援課)

概要

熊谷市企業の立地及び拡大の支援に関する条例に基づき、市内に事業所の新設等をした事業者に対し企業立地奨励金を交付する。

実績

企業立地奨励金交付事業者数 32事業者

企業誘致セミナー

(担当課 企業活動支援課)

概要

市内経済の活性化に向けオフィス需要喚起を図るため、企業誘致に向けた本市の特性等をPRするセミナーを開催しました。

実績

日時 令和7年9月19日(金) 15:00~16:50
会場 ステーションコンファレンス東京
参加者 申込み38社 当日参加31社39名

機会をとらえた企業誘致活動

(担当課 企業活動支援課)

概要

埼玉県等が主催するセミナーへの参加や、進出希望企業の情報があった場合など、機会をとらえた企業誘致活動を実践する。産業用地の情報を収集し、進出希望企業とのマッチングを行う。

実績

埼玉県企業立地セミナーin大阪(埼玉県主催)への参加。進出希望企業への訪問等

公共空間のWi-Fi環境の整備

概要

公共施設に、市民が自由に使用できるWi-Fi環境を提供し、利用者の利便性を向上します。

公共施設 **Wi-Fi** (担当課 デジタル推進課)

実績

■ 継続運用

本庁舎・分庁舎、くまぴあ、熊谷図書館、大里図書館、妻沼図書館、江南図書館、文化会館

■ 新規導入

くまキッズ「こども館」
令和8年4月供用開始



観光・まちなかエリア **Wi-Fi** (担当課 商業観光課)

実績

■ 継続運用

熊谷駅北口、熊谷市南口、熊谷市東口、星川広場



公共施設 **モバイルルーター貸出し** (担当課 政策調査課)

実績

■ 継続運用

大里ふれあいセンター、男女共同参画推進センター
商工会館、中央公民館（市民ホール）
妻沼中央公民館および地域公民館



県道青山熊谷線について、県への働きかけにより整備を促進します。

県道青山熊谷線

(担当課 道路課)

概要

県道青山熊谷線が熊谷市と東松山市を結ぶことにより、県北・県央地域の経済の活性化、利便性・安全性の向上及び交通渋滞の緩和等のストック効果の発言が期待されます。

工事は順調に進んでいるところですが、県道青山熊谷線整備促進期成同盟会を通して、東松山市と共に引き続き整備促進の要望を行っていきます。

実績

8月に県道青山熊谷線整備促進期成同盟会として事業主体である埼玉県へ整備促進の要望を行いました。

県道青山熊谷線位置図

